


表示マークについて

取扱説明書や製品のラベルに記載されている

 マーク付きの説明は、安全上、特に重要な項目ですから、必ずお守りください。

危険

記載されている内容を守らなければ、死亡や重大な事故が生じる危険が極めて大きいことを示します。

警告

記載されている内容を守らなければ、死亡や傷害事故が生じる危険があることを示します。

注意

記載されている内容を守らなければ、けがや製品が破損する恐れがあることを示します。

破損したままで使用しますと、転倒や転落による傷害事故の原因になります。



このマークは、禁止(してはいけないこと)を示します。



このマークは、強制(必ずすること)を示します。

< 絵表示について >

警告表示の要点が一目で理解できるように、警告ラベルの中で絵表示を使用しています。絵表示には下記の意味があります。



感電注意

持ち運びや移動・設置時に、配電線に触れると感電して危険であることを示します。



開き止め(チェーン等)の 掛け忘れに注意

開き止め(チェーン等)を掛け忘れて使うと脚が開き、転倒や転落の恐れがあることを示します。



左右方向転倒に注意

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあることを示します。



調整金具のロック忘れに 注意

ロックされていないと、後支柱が縮み、脚立が転倒し、破損や傷害事故の恐れがあることを示します。

ここに記載されている注意事項を守らないと、死亡や重大な事故、製品の破損が生じる恐れがあります。

1. 使用条件について

⚠警告 脚立としての用途以外の使いかたをしないでください。



禁止

この製品は、造園芸作業を行うためのものです。

使いかたを誤ったり、用途以外の使いかたをしますと、転倒や転落による重大な事故の恐れがあります。

⚠警告 この製品は、本体表示ラベルでの最大使用質量の範囲内で使用してください。



強制

体重と荷物の合計重量が、最大使用質量を超えるときは、使用しないでください。

また、荷物はバランスの保てる程度の大きさや重さにしてください。

⚠警告 お子様や取扱説明書・警告ラベルの内容が理解できない人には、使わせないでください。



禁止

この製品の取扱説明書や警告ラベルには、安全に使用する上で特に重要なことが書かれていますので、内容が理解できない人が使うと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠警告 脚立を加工や改造しないでください。



禁止

重大な事故を起こす恐れがあります。

⚠注意 身体が下記の状態のときは、使わないでください。



禁止

疲れているとき

薬やお酒を飲んだとき

病気や妊娠しているとき

身体に異常を感じる時

身体のバランスが保てず、転倒や転落の恐れがあります。



3. 運ぶときは

⚠注意 トラックなどにロープで固定するときは、ロープを激しく引っ張らないでください。



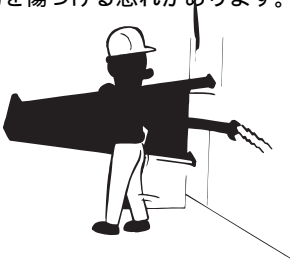
製品に亀裂が入り、使用中に折れて転落する恐れがあります。



⚠注意 持ち運びや設置のときには、滑り止め（滑り止めユニット）の突起に注意してください。



人や物を傷つける恐れがあります。



⚠警告 雨の中や風の強い場所には、設置しないでください。



禁止

濡れた踏ざんで滑ったり、強い風を受けて身体のバランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 足元や周囲がはっきり見えない暗がりには、設置しないでください。



禁止

足を踏み外したり、周囲の危険な物に気付かないことが原因で、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 落雷の恐れがあるときは、使わないでください。



禁止

使用中の場合は、脚立を地面に倒し、近づかないでください。落雷による事故の恐れがあります。

⚠注意 周囲に危険なものがある場所や、頭上に障害物のある場所には設置しないでください。



禁止

転倒や転落の恐れがあります。

5. 設置するとき

⚠危険 後支柱は、昇降面のセンターからずらして設置しないでください。



禁止

後支柱の設置位置は、昇降面のセンターの位置に設置してください。守らないと転倒や転落の危険があります。

警告 開き止め(チェーン等)に掛かっていることを必ず確認してください。



強制

開き止め(チェーン等)を掛けた状態で作業すると脚が開き、転倒や転落の恐れがあります。



6. 昇り降りや作業をするとき

⚠危険 天板の端に乗ったり、爪先立ちや片足で立たないでください。



禁止

バランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

天板に乗るときは、身体が天板の中央になるように乗ってください。

⚠危険 脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。



禁止

身体を乗り出すとバランスをくずして、転倒や転落の危険があります。

⚠警告 使用中、脚立の上で木の枝や物を無理に押したり引いたりしないでください。



禁止

無理に押ししたり、引いたりすると、反動で脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

チェーンソーやトリマーなど身体の安定が得られない道具は、使用しないでください。



⚠警告 身体の安定が得られないような荷物を持って、昇り降りしないでください。



禁止

バランスをくずして、転倒や転落の恐れがあります。そのような荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手両足が使える状態にしてください。

⚠警告 同時に2人以上乗らないでください。



禁止

脚立が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠警告 脚立を背にしたり、手放し
で昇り降りしないでください。



禁止

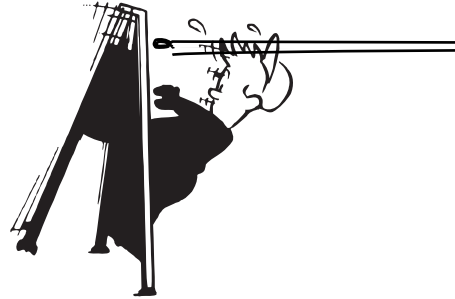
身体が不安定になり、転倒や転落の恐れがあります。

⚠注意 昇降するときや作業するときに、脚立の上で身体を反らせるような状態で、後ろに体重をかけないでください。



禁止

後支柱が浮き、折りたたまれて、転倒や転落の恐れがあります。



⚠警告 二つの脚立の間に板をかけて、足場などに使わないでください。



禁止

踏ざんなどが破損したり、脚立が不安定になって、転倒や転落の恐れがあります。



⚠注意 脚立に荷物や収穫物の入ったカゴや袋などをかけないでください。



禁止

脚立のバランスがくずれて、転倒や転落の恐れがあります。

ご使用前の点検

脚立をお使いになる前には、下記の点検を行い、異常のないことを確認してください。また、異常に対して処置できるものは、正しい処置をした後に使用してください。

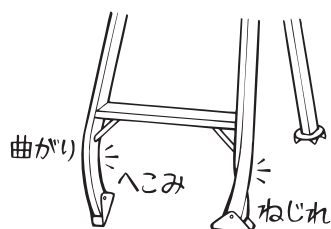
はじめてお使いになるときに

梱包の開封後、滑り止め(滑り止めユニット)に発泡スチロールが付いている場合は、必ず取り外してください。

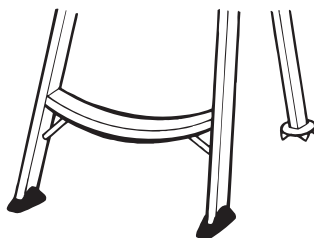
1. 目で見て、下記の点検をしてください。

踏ざんにグリース・油・泥・雪・水・ペンキなど、滑りやすいものが付いていないか確認し、付いている場合はきれいに拭き取ってください。(17ページ参照)

支柱に曲がり・ねじれ・へこみがありませんか。
ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



踏ざんに曲がり・へこみがありませんか。
ある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



2. 下記の箇所を触って点検をしてください。

各段の踏ざんをねじってみて、ガタツキがないか点検してください。ガタツキがある場合は、絶対に使わないで廃棄してください。



可動部にゆるみやガタツキがありませんか。

ガタツキがある場合は、部品のゆるみや外れが考えられますので、絶対に使わないで廃棄してください。

開き止め(チェーン等)が確実に掛けることができますか。

確実に掛けることができない場合は、絶対に使わないで廃棄してください。

調整金具が確実にロックできますか。

確実にロックできないときは、絶対に使わないで廃棄してください。

脚立の使いかた

1. 設置場所について

滑りにくい場所や脚立が埋もれない安定した場所を選んで設置してください。脚立の周囲に危険な物がなく、バランスの良い作業姿勢で行える位置に設置してください。



2. 脚立にするとき

脚立が重い場合は、2人で行ってください。

脚立を折りたたんだ状態のまま、地面に寝かせて置いてください。後支柱に収納金具がある製品は、収納金具から外します。

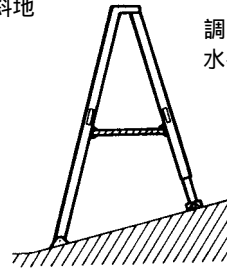
後支柱の長さが調整できるタイプは、後支柱を持って、後支柱の長さを前支柱の長さとはほぼ同じにし、調整金具で調整脚の固定を確実に行ってください。

脚立の天板を持ち上げて、踏ざんを持ち変えながら起した後で、脚立を開いて立ててください。

前支柱と後支柱が、それぞれ約75度になるようにして、脚立を設置してください。

後支柱の長さを調節できるタイプは、後支柱の長さを調節し、調整金具でロックしてください。75度の目安は、支柱に貼ってある「75度指示ライン」を、水平・垂直になるように調整してください。

傾斜地

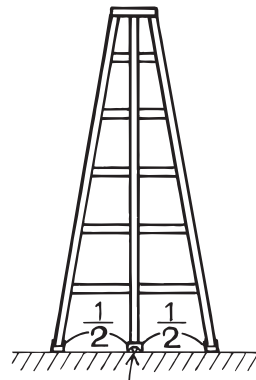


調整脚を縮めて
水平にする

このとき、後支柱の位置は、昇降面のセンターにくるよう設置してください。

開いた脚立は、開き止め（チェーン等）を掛け、開き止め（チェーン等）を張った状態で固定します。

3. 脚立をたたむとき



脚立が重い場合は、2人で行ってください。

両手で支柱を持ち、静かに折りたたみます。

折りたたんだ脚立は、後支柱を上にして地面に寝かせます。

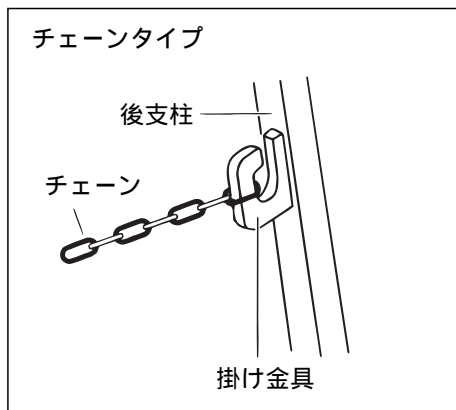
次に、後支柱を収納金具に固定します。

収納金具がない製品は、後支柱が動かないように開き止め（チェーン等）で踏ざんに固定してください。



5. 開き止め（チェーン等） の固定のしかた

前支柱と後支柱をそれぞれ約 75 度に設置
した後、開き止め（チェーン等）がたるまな
いように、掛け金具に固定してください。



6. 昇りかた・降りかた・作業のしかた

昇る前に、後支柱の調整金具が確実にロックされていること、開き止め(チェーン等)が確実に掛かり外れないことを確認してください。

運動靴など、滑りにくいはき物をはいてください。

身体の前面を脚立に向け、両手両足を使って、慎重に昇り降りしてください。

荷物があるときは、背中に背負うなどして、両手を使えるようにしてください。

脚立の上で作業するときは、上わくに身体を当て、安定させた状態で作業してください。

脚立の上で作業するときは、脚立の支柱から身体を乗り出さないでください。

降りるときは、飛び降りずに1段ずつ踏ざんに足を掛け、最下段の踏ざんまで使って慎重に降りてください。

踏ざんに乗るときには、図のように足を掛けてください。

脚立を移動するときには、脚立から地上に降りて移動してください。



使用後のお手入れと保管のしかた

1. お手入れのしかた

脚立にとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。いつもきれいにしておいてください。

掃除のしかた

汚れは、濡れぞうきんできれいに拭き取ってください。

汚れがいちじるしい場合は水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

⚠️ 注意

クリーナーや洗剤を付けたままにしていると腐食の原因になります。

2. 保管のしかた

雨や直射日光の当たらない、風通しの良い乾燥した場所を選んで保管してください。雨や直射日光が当たると、各部の腐食や劣化により、強度低下の原因になります。

本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

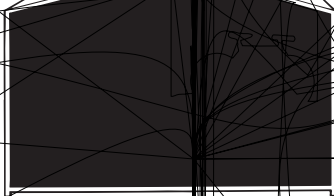
⚠️ 注意

保管中は、本製品の上は物を置かないでください。変形の原因になります。

農業やセメント・石灰の近くでは本製品を置きますと、化学反応を起立して腐食の原因になりますので、絶対に置かないでください。



禁止



「故障かな？」と思ったら(不調診断)

現象 使ったときに、グラグラする。

点検する箇所	処置のしかた
支柱と踏さんの接合部に、ひび割れや亀裂がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
後支柱の可動部に、ゆるみやガタツキがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

現象 開き止め(チェーン等)や調整金具が確実に掛からない。

点検する箇所	処置のしかた
開き止め(チェーン等)掛け金具が破損・変形・脱落していませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
調整金具に機能がそこなわれるような破損や変形、サビ付きがありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。

現象 脚立がスムーズに開閉できない。

点検する箇所	処置のしかた
後支柱や可動部に変形やサビ付きがありませんか。	ある場合は可動部に注油してください。 機能がそこなわれるようないちじるしいサビ付きがある場合は、使わないで廃棄してください。

現象 水平な場所に設置したのに踏さんが傾く。

点検する箇所	処置のしかた
滑り止め(滑り止めユニット)や支柱の下部が曲がっていませんか。	曲がっているときは、使わないで廃棄してください。
全体に大きく変形していませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
踏さんに曲がりや変形がありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。



警告



禁止

製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしないでください。一度変形した本体や金具は、いちじるしく強度が落ちており、手直ししても本体や金具の破損が起り、転倒や転落による人身事故の原因になります。

長谷川工業株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 2-1-1 江戸堀センタービル 14F TEL 06-6446-1845(代) FAX 06-6446-1846
お客様相談室 TEL 06 6446 1858
